

学校法人 湯梨浜学園

湯梨浜学園 中学校・高等学校

YURIHAMAGAKUEN



志は高く、夢は大きく

最高の自分を目指して

少数精鋭英才型私学

校訓 自主自律



湯梨浜学園中学校・高等学校
校長 岩田 直樹

志は高く、夢は大きく

湯梨浜学園は、生徒個々の潜在能力を最大限に伸ばし、将来科学技術創造立国たる日本を支え、国際社会に貢献する有為な人材を育成することを目指して開校した学校で、創立20周年を迎えました。

この春の卒業生の進路においては、地域に根差した学校として鳥取大学、公立鳥取環境大学などの進学実績はもちろんのこと、県外の超進学校にひけをとらない強みを発揮し、医学部医学科3名をはじめとして、神戸大学、大阪教育大学、岡山大学法学部、山口大学、高知大学、島根大学、大阪公立大学、新見公立大学など素晴らしい合格実績を挙げ、実にクラスの6割近くの生徒が現役で国公立大学に進学しました。また難関私立大学では自治医科大学、川崎医科大学、立命館大学、関西学院大学などへの進学も果たしました。

また本校は『日本の残したい里山百選』に選ばれるほどの風光明媚な自然景観の中に位置し、最高の自然環境の中での学校生活は、まさに大自然の中の超進学校といっても過言ではありません。この自然環境を次世代に残していきたいという思いから文科省のスーパーサイエンスハイスクール事業に応募し、『環境保全』を主軸とした文理融合基礎枠としては鳥取県で初のSSH指定校に選ばれています。

中学部では生徒1人ひとりの個性を尊重し、のびのびと学習と探究のバランスをとった学園生活を送り、高校部では大学受験を意識した細分化された授業体制と個別最適化された補習・添削指導体制で夢実現のための支援体制をとっています。

その秘訣として湯梨浜学園は常に生徒ファーストの体制をとり、「生徒一人ひとりが主役となる少数精鋭の英才型私学」であり、特定の大きな集団に自分という個性を同調させ、学力的に萎縮した状態で学生生活を送るのではなく、自身の能力に限界や壁を設けず、個々の才能や特性を伸ばすことができますということです。また、学習面だけでなく心の素養や将来的課題解決を担う人材育成のために学習指導要領上のカリキュラムだけに満足せず、論語教育、新聞教育などを取り入れ、また湯梨浜学園独自の国際・環境・情報などの領域において、学園独自の独自教育課程を実施し、SDGsの2030年までに達成すべき17の大きな目標を、生徒一人ひとりが研究室、チューター制度などを通じて取り組んでいきます。

一人ひとりが夢を叶え、次なる舞台へ大きく飛躍できる学園の同志となる皆さんの入学をお待ちしています。

目指す人材

科学技術創造立国を支える人材
国際社会で活躍できる人材
各方面で活躍するリーダー的人材

- ①SDGsを真剣に自分の問題として捉え、学園で培った経験を活かし、そのゴールテープを切れる人になる
- ②いつも感謝と思いやりを表現できる人になる

2026年の春 主な合格実績

【国公立大学】

大阪教育大学 教育学部教育協働学科
神戸大学 医学部保健学科
岡山大学 法学部法学科
鳥取大学 医学部医学科
鳥取大学 医学部生命科学科
鳥取大学 医学部保健学科
鳥取大学 地域学部人間形成学科
鳥取大学 工学部機械物理系学科(2名)
島根大学 総合理工学部総合理工学科
島根大学 医学部看護学科
山口大学 経済学部経済学科
高知大学 医学部看護学科
公立千歳科学技術大学 理工学部理工学科
大阪公立大学 工学部化学バイオ工学科
公立鳥取環境大学 環境学部環境学科(2名)
新見公立大学 健康科学部看護学科

【私立大学】

自治医科大学 医学部医学科
川崎医科大学 医学部医学科
明治大学 農学部生命科学科
立命館大学 法学部法学科(2名)
立命館大学 生命科学部生命情報学科
立命館大学 生命科学部生命医科学科(2名)
関西学院大学 建築学部建築学科
日本大学 理工学部航空宇宙工学科
東洋大学 経済学部国際経済学科
京都産業大学 現代社会学部現代社会学科(2名)
近畿大学 薬学部医療薬学科
近畿大学 工学部機械工学科
兵庫医科大学 薬学部医療薬学科
徳島文理大学 香川薬学部薬学科
【文科省管轄外】
防衛大学校 理工学専攻(2名)



湯梨浜学園の中高一貫教育とは？

生徒の無限の可能性を伸ばす真のゆとり

6年間をトータルで考え、効率のよいカリキュラムを設定。
中高一貫校の「高校受験がなく、中学3年間で足踏みしないでいい」という特長を生かすことで、公立中学では週4時間で行われる数学と英語の授業数を5~7時間にし、ゆとりある6年間のカリキュラムで国立大学や難関私立大学への合格力をしっかりと身につけることができます。



基礎力養成期

積極的に学ぶ習慣を身につけ
確かな土台づくり

湯梨浜学園では、「学ぶ楽しみ」を感じられる授業を心がけ、「自ら学ぶ姿勢」を大切に育みます。そして、英・国・数を中心に中学3年間の基礎学力の定着を図ります。また、様々な体験学習を通じて知的探究心を育み、将来の夢を醸成します。



科学するこころ教室

応用力養成期

無理のない先取り学習で各教科の
理解を深める

中学3年次より高校の履修内容に入り、中高一貫校向けの教科書や独自の問題集で生徒の理解を深めながらスムーズに学習計画を進めます。高校1年次からは、科目選択をしながら、希望進路に即した学習プランを展開します。



授業風景

実践力養成期

実践力のトレーニングを
積み重ね、志望大学合格へ

入試に直結したカリキュラムのもとで、各大学の入試対策も含め、入試傾向に合わせた演習指導を徹底。十分な演習時間を確保して、一人ひとりの目標を達成できる実力を確実に身につけます。



進路指導室

発展期

興味・関心ある専門分野の
“知識・技術の習得”

社会で活躍するための最終準備

職業人



柴田 晃希さん
〔2021年度卒 鳥取大学医学部医学科〕

「成長を支えた3つの魅力」

6年間過ごした湯梨浜学園の魅力を紹介いたします。
まず、将来について早い段階から考える機会があることです。中学1年生の時に職業や資格について調べる授業があり、担任の先生と1対1で話す時間も設けられていました。学年が上がるにつれ、興味のある職業が変わることもありますが、先生方は何度でも相談に乗ってください、1人で悩むことなく進路を考えることができます。私自身、医師になりたいと相談した際、学力が足りていませんでしたが、先生方は否定することなく、親身に指導してください、そのおかげで大学に合格できました。
次に、日々の学習や受験期のサポートが手厚いことです。先生方は苦学克服のために多くの問題を提供し、解けなかった問題も丁寧に解説してくださいました。さらに、放課後の補習にも積極的に誘ってくださり、勉強が「やらされるもの」ではなく「自ら学びたいもの」へと変わりました。私も補習を楽しみにするようになり、自然と学習に励む環境が整っていました。
最後に、中高一貫校ならではの青春を味わえる点です。高校生と中学生と一緒に部活や学園祭を楽しみ、先輩・後輩と関わることで、社会に出てから必要なコミュニケーション能力が養われます。これは大学や将来においても大きな糧になると感じています。
大学生になると勉強の計画や生活管理はすべて自分で行う必要があります。受験期には先生方や家族が全力で支えてくれることを忘れず、感謝の気持ちを持って学んでほしいと思います。そして、勉強だけでなく、湯梨浜学園ならではの青春も存分に楽しんでください。

第四期 ▶ 卒業後

未来をひらく6年間を

湯梨浜学園での6年間が、私の可能性を広げてくれました。
本校は中高一貫校であるため高校入試がなく、大学入試に向けた学習や部活動、学校行事のすべてに十分な時間をかけて取り組むことができます。先生方の丁寧なサポートのもと、早い段階から自分の進路と真剣に向き合える環境が整っています。6年間をともに歩む仲間と切磋琢磨する日々の中で、自然と学習への意欲が高まります。また、SSH指定校として、文系・理系の枠を超えた探究活動ができることも本校ならではの強みです。



山本 明佳さん
〔高校3年〕

充実した環境で自分らしく成長

湯梨浜学園は、多彩な経験を通じて視野を広げられる学校です。昨年度の西表島SSH研修では、亜熱帯という独自の生態系に触れ、現地の自然保全活動を学ぶことで、環境問題を身近に感じる貴重な機会となりました。SSH研修や海外研修といった学校行事だけでなく、校外活動やボランティア情報も先生方が積極的に紹介して下さるため、在学中にさまざまなことへ挑戦できる環境が整っています。また、やりたいことがあれば先生方が応募書類の添削や面接練習など何度も丁寧にサポートして下さいます。挑戦する機会と温かい支えのある湯梨浜学園で、のびのびと成長してみませんか。



井上 葉月さん
〔高校2年〕

濃密な経験と深い学び

山の中で動物の足跡を追ったあの日、僕は「本当に学ぶ」ことの意味を実感しました。
湯梨浜学園はSSHに認定されているため、文化交流や野外活動など、多種多様な経験を積むことができます。中学2年生で参加した野生鳥獣痕跡調査では、実際に摩尼山を訪れ、五感を使って自然を体感することで、とても深い学びができたと感じています。また、昨年は世界各地で活躍するギタリストの方がお越しになり、貴重な演奏を拝聴させていただきました。言葉では表せない感動を体全体で受け取った気がしました。
まだ入学して2年ほどですが、忘れられない経験と深い学びを与えてくれた湯梨浜学園にとっても感謝しています。これからも多くのことを吸収していきたいです。



太田 蓮士さん
〔中学3年〕

現地交流から学ぶ、世界と自分

湯梨浜学園の海外研修は、ただ海外を体験するだけにとどまりません。現地の文化や習慣に直接触れ、人々との交流を通じて、世界の広さを肌で実感できる貴重な機会です。
授業で学んだ英語を活かしながら言葉の壁を乗り越えようとする姿勢や、相手の文化を尊重する心は、交流の中で自然と育まれていきます。また、現地の時間に合わせた集団行動や異なる環境での生活を通じて、本校の校訓である「自主自律」の精神を実践的に身につけることができます。
海外研修での経験は帰国後もしっかりと活き、その後の学習や進路選択にもつながっています。



椋田 光さん
〔高校1年〕

「挑戦する気持ちを後押ししてくれる場所」

湯梨浜学園には、検定取得を応援する報奨金制度があります。私はこの制度をきっかけに、漢字検定で「どこまでいけるだろう」と自分の限界に挑戦してみようと思うようになりました。目標を高く設定することで、達成したときの喜びも大きく、自信につながっています。
少人数だからこそ、先生方との距離がとても近いのも湯梨浜学園の魅力です。分からないことがあればすぐに質問でき、先生方はいつも丁寧に教えてくださいました。また、検定対策のテキストも充実しているので、「やってみよう」と思ったときにすぐ行動に移せる環境が整っています。
こうした環境が、私の「挑戦したい」という気持ちを後押ししてくれています。



谷田 晴人さん
〔中学2年〕

「大学が、ぐっと身近になった日」

湯梨浜学園には、授業以外にもたくさんの体験の機会があります。
僕が印象に残っているのは、2年生のときに参加した鳥取環境大学のキャンパスツアーです。大学のキャンパスを実際に歩いて、大学生の方に直接お話を聞いたことで、なんとなく遠い存在だった「大学」がぐっと身近に感じられました。来年は鳥取大学のツアーもあると聞いて、今からとても楽しみにしています。
こういった体験を通して、「将来こんなことを学んでみたいな」と自然と考えるようになりました。勉強だけでなく、本物の体験から自分の将来を考えられるのが、湯梨浜学園の魅力だと思います。



山下 輝さん
〔中学3年〕

令和6年度指定 第I期

学校法人湯梨浜学園 湯梨浜学園中学校・高等学校

湯梨浜学園は文部科学省指定 Super Science High Schoolです



文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的な探究能力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取り組みです。SSHでは、「科学への夢」、「科学を楽しむ心」を育み、生徒の個性と能力を一層伸ばしていくことを目指しています。

本校は令和6年度より中国・四国・九州地区で数少ない指定校のひとつ“文理融合基礎枠”として指定されました。本校の研究開発課題は、「地域の活力を引き出し恒久的な環境保全を完全する科学的な人材を育成する教育プログラムの開発」です。自然科学分野と人文科学分野の双方の観点から物事を捉えられるよう独自のカリキュラムによる授業の展開や、大学・研究機関との連携による授業、ユネスコ世界ジオパーク、世界自然遺産でのフィールドワーク研修を行います。また、地域と環境を主とした探究活動に取り組み、これからの時代に必要な力を育みます。



スクールドッグプロジェクト



科学的探究心の育成

事象の現状把握・現状分析・原因究明ができる人材を育成する。

身近な地域課題の調査

高大接続特別講義

教科横断型探究プログラム



学園マスコット「ゆりがく君」

3つの柱を支える 循環型の探究学習 サイクル

地域・企業との連携

地域企業・団体がもつ、科学的財産を活用した体験活動を行い、科学的スキルを育成する。実験手法や研究手法を考え、実際に解決に向けた行動ができる人材を育成する。

環境 SE

体験型探究活動

企業訪問・フィールドワーク

情報発信力の育成

日本語、英語の言語能力を向上させ、相手にわかりやすく伝える力を育成する。ICTツールを活用できる人材を育成する。

GSE プログラム

国外研修プログラム

課題研究成果発表会

※GSE Global Science Education (国際理数教育)



湯梨浜学園を卒業し、様々な分野で活躍を遂げている先輩たちをご紹介します



渡邊 紘子さん
早稲田大学
文化構想学部2年

地元愛を力に、地方を元気に

湯梨浜学園の強みを一言で表すなら、「個性」です。中学・高校を通して2カ国への海外研修に参加できる学校は多くありません。加えて、他校に比べて人数が少ないことも、この学校ならではの魅力です。一人ひとりの距離が近いからこそ、深い絆を育みやすい環境があります。さらに、校内で多くの動物を飼育している点も珍しく、学びの幅を広げてくれます。こうした特徴が一つの学校にそろっているところに、「唯一無二の個性」があると感じています。

私は現在、文化構想学部でメディア論や地域連携学を学び、ジャーナリズムや地域活性化について理解を深めています。授業のテーマは幅広く、アニメや音楽などのサブカルチャーを分析するものもあれば、映画を題材に表現の背景を考えるものもあります。多様な切り口に触れながら、発信力や表現力について考えを深めてきました。新聞社のワークショップや地方でのフィールドワークなど、教室の外でも学びの場を広げています。また、課外活動では「とっとりヘルカニプランナー」として東京で鳥取のPR活動に関わり、イベント運営や取材を通して地元の魅力を届けています。

今年の夏からは1年間、シンガポールへ交換留学する予定です。海外でジャーナリズムを学び、異なる価値観や社会のあり方に触れることで、将来はグローバルな視点を持ちながら、日本の地域社会にどう関わっていきけるかを考えていきたいと思っています。

高校時代の地域活動や生徒会活動の経験が、これらの活動の原点となり、今の関心や目標につながっています。

受験生の皆さんへ伝えたいのは、「素直さ」の大切さです。信頼できる人からのアドバイスは、まず受け取り、今日から試してみることが大事です。聞いて、頼って、続けてみる。私も高1・高2の頃は先生方の助言を素直に受け止められず、遠回りをしました。しかし高3になってからは、少人数だからこそ先生方や家族に支えてもらいながら、「素直に実践する」ことが自分を前に進めてくれました。先生方と一緒に船に乗り込むイメージで進んでみてください。皆さんの輝く未来を心から応援しています。



田中 愛莉さん
奈良女子大学
文学部言語文化学科2年

寄り添ってくれる先生方との6年間

私が思う湯梨浜学園の魅力は、大きく2つあります。

1つ目は、中学生からの先取り学習により、大学受験で十分な演習時間を確保できることです。最初は高校内容についていけるか不安でしたが、先生方が丁寧に授業してください、分からないところは納得するまで教えてくださいました。国語・英語・数学の共通テストを意識した授業は高校2年生の終わり頃から始まりましたが、当初は分からない問題ばかりで、全問不正解が続いたこともありましたが。そんな時も先生は問題の解説とともに基礎から教えてください、受験期には演習を重ねながら基本の確認もして下さったので、本当に助かりました。

2つ目は、先生方に相談しやすい環境が整っていることです。勉強面だけでなく、学校生活での悩みも気軽に相談できます。私は高校1年生まで、サポートノートに勉強や生活での悩みを書き、先生からのコメントに何度も救われました。一人で抱え込まず相談すれば、先生方は必ず力になってくれます。

受験では不安がつきものですが、それでも目の前のやるべきことに全力で取り組めば、その経験は後々かけがえのない財産になります。「この学校でどんなふうに過ごしたいか」を想像することが、やる気のエンジンになります。

現在、私は奈良女子大学の文学部で充実した日々を送っています。中国文学の授業では娯楽性のある作品も扱うので毎回楽しく、他にも国際関係、心理学、哲学など幅広い分野を学んでいます。授業のない時間には友達と書店に立ち寄りたり、近くの東大寺で過ごしたりと、大学生活を満喫しています。

皆さんがこれから入学して夢を見つけた時、湯梨浜学園の先生方がその夢をサポートしてくれます。「この学校でこう過ごしたい」という初心を忘れずに、夢に向かって努力してください。心から応援しています。



井上 慧人さん
名古屋市立大学
薬学部生命薬科学科2年

あなたの『好き』が、ここで道になる

科学部に所属していた中学生の頃、先生の勧めで鳥取大学のジュニアドクター育成塾に参加しました。研究室に通い、自分の手で実験を重ねる日々の中で、担当の教授がある日、ご自身の研究から生まれた製品のサンプルをプレゼントしてくださいました。「研究がこうして社会の役に立つのか」と感動したあの瞬間が、研究者を志すきっかけになりました。進路を絞る過程で、化学が最も好きで得意な教科だったこと、そして祖父を病気で亡くし、自身も手術を経験してきたことから、薬の開発という形で医療に貢献したいという思いが重なり、薬学部の研究指向の学科を選びました。

湯梨浜学園はその夢を育てる環境が整っていました。学年ごとに目標の級が定められた検定制度は、受験が本格化する前から学習リズムを整えるペースメーカーでした。英語・漢字・数学・理科・ニュース検定と、幅広い分野をカバーしているのも大きな特徴です。受験期には先生方が添削や面談を重ね、教材選定にも力を添えてくださり、おかげで自分の課題に合った対策を継続でき、第一志望合格につながりました。

私の学科は、学生の多くが大学院に進学するなど研究者養成の環境が整っています。現在は座学に加え基礎実験の訓練や研究室訪問にも取り組み、課外では水泳部とアルバイトにも励んでいます。「先を見据えて着実に積み重ねる」——その姿勢は、夢がまだ漠然としていた中学時代に湯梨浜学園で培われたものです。まだ夢が決まっていなくても大丈夫。湯梨浜学園には、漠然とした興味を、進むべき道へと育ててくれる環境があります。

未来を切り拓いた先輩たち



夢への第一歩を踏み出せる場所

湯梨浜学園で培った「責任感」と「最後までやり抜く力」は、現在の仕事でも大きな支えとなっています。現在は鉄道会社で東海道新幹線の運転士として、日々安全で正確な運行を担っています。多くのお客様の命を預かる責任ある仕事であり、常に高い集中力と冷静な判断力が求められます。中学・高校時代に身につけた基礎があるからこそ、どんな状況でも落ち着いて行動できていると実感しています。

短い学生生活では悔いの残らないように様々な事に挑戦してもらえたらと思います。皆さんの夢や目標が叶うことを応援しています！

専修大学商学部マーケティング学科卒
東海旅客鉄道株式会社 (JR 東海) 大阪第一運輸所 谷川 陽祐さん



悔いのない選択を

私は2017年3月に湯梨浜学園を卒業し、2024年より医師として勤務しております。湯梨浜学園での生活を振り返ると、日々の添削指導や、遅くまでの面接指導・補講など、先生方に熱心にご指導していただいたことが強く印象に残っています。社会人として働くようになった今、先生方の熱意に支えられていたことを改めて実感しています。

これから湯梨浜学園で学ぶ皆さんへ。学生生活はあっという間に過ぎていきます。悔いのないよう、楽しむときは楽しみ、力を抜くときは抜きながら、自分の道を大切に歩いてください。湯梨浜学園の先生方は、いつも皆さんに寄り添い、支えてくださるはずですよ。皆さんが自分らしく悩み、考え、私と同じように「湯梨浜学園で良かった」と思ってくれると思います。頑張ってください。

自治医科大学医学部医学科卒
鳥取県立厚生病院医師 宇奈手 咲子さん

湯梨浜学園の一番の強みは何ですか？ / 日々の対面授業と個別最適化されたフォロー体制！！

早いうちから行う大学入試対応！！



国語 論理力と豊かな表現力を養成する



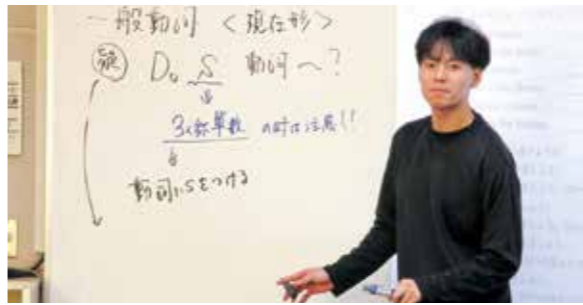
「国語力」は、全ての思考の根幹をなすものです。国語科では、現代社会で活躍するベースとなる「国語力」を育むことを目標としています。様々な分野の優れた文章に触れ、知的探究心や批判的思考力を養うとともに、特に近年は記述力・表現力の養成に力を入れています。ICTの活用や図書館との連携をはかり、ディベート、ピブリオバトル、*NIE、プレゼンテーション、論文作成、各種文芸コンテストへの参加などを通してこれらの力を身に付けていきます。また、中高一貫教育の利点を活かし、多くの高校生が苦手とする古典を中学生から学習していきます。古典独自の世界観や物事の捉え方に触れ、古典の面白さを味わっていきます。単なる知識にとどまらない、人間形成に資する真の国語力を育てます。
*NIE…Newspaper In Education (教育に新聞を役立てる)

数学 論理的な思考を身に付け解決力を伸ばす

大切にしているのは「用語の定義」や「公式の成り立ち」の本質的な理解です。「なぜ」を常に考えながら問題に向き合い、筋道を立てて考えたことを、他者に正確に伝える記述力を養成する指導を行います。同時に基本的な計算力を鍛えるための日々の演習も大切に、授業開始時に「計算力テスト」や「確認テスト」を実施しています。「生徒の「わからない」を「わかった」→「できた」に変える」をモットーに数学科の先生がチームで取り組んでいます。



英語 ツールとしての英語を武器に国際社会で活躍する



習熟度に応じた最適な学習を提供します。「聞く→話す→読む→書く」という言語習得のプロセスを意識した学習を通して、英語の運用能力を高めるとともに、国際基準の論理的思考力を養います。膨大な情報から本質を読みとる力、そして自分の考えを整理し、相手に的確に伝える表現力を構築します。さらに、中学と高校でそれぞれ1回ずつ実施される海外語学研修では、現地の文化を体験しながら、ネイティブスピーカーとの実践的なコミュニケーションを通じて、英語力と国際的視野を育みます。

社会 どう生きてきてどう生きていくのか未来へつなげる

グラフ・図・先人たちの文章などといった様々な資料の比較・分析・考察をしながら学習を進めていきます。タブレットを活用した調べ学習のほか、グループワーク等を通し、多面的に考察する力を養い、本校の課題研究テーマであるSDGsの研究につなげていきます。地域、国内そして世界で起こっている社会事象についての知識と理解を深め、問題解決の方法について考え、実生活・実社会に生かす力を身に付けることを目指しています。



理科 好奇心を原動力に科学技術創造立国を支える人材育成



グラフや図を積極的に活用し、身近な自然現象の摂理を深く理解しながら学習を進めていきます。既知の科学的法則を学ぶことは、それを応用して新たな価値を創造する力の礎となります。これは、本校の探究活動の柱である「環境保全」において、正解のない問いに対し自ら答えを導き出す能力へとつながるものです。さらに、理科の4分野にとどまらず、数学や情報などの要素を融合させた内容を展開し、多角的に事象を捉える資質を養います。

自ら学び続けて夢実現へ羽ばたく

3大検定といわれる「実用英語技能検定」「実用数学技能検定」「日本漢字能力検定」のみならず、「ニュース時事能力検定」「実用理科技能検定」などの検定取得に向けて、特にアウトプットに力を入れる授業時間を確保しています。自主自律の校訓のもと、年度初めに立てた年間の取得計画に沿って、上位級取得に向けて自ら学ぶ姿勢を貫き、努力することの尊さと大きな自信を獲得することを可能にします。

各種検定



湯梨浜学園の学校行事



- 運動会
 - 1学期 始業式
 - 入学式
 - オリエンテーション
 - 新入生歓迎会
 - 春休み明け実力テスト
 - 自律共働研修〔中〕
 - PTA総会・学級PTA
- 環境大学キャンパスツアー
 - 夏期集中講座
 - 2学期 始業式
 - 夏休み明け実力テスト
 - 生徒会後期役員選挙
 - キャンパスツアー〔中〕
 - 課題研究 中間報告会
 - 研究所研修〔中〕
- 鳥取大学キャンパスツアー
 - 2学期 中間考査
 - 創立記念日
 - 人権学習
 - 遠足
- 湯梨浜学園音楽会
 - 中学校 前期入試
 - 保護者面談
 - 2学期 終業式
- 海外語学研修
 - 学年末考査
 - 高3生を送る会
 - 修業式
 - 仮想共通テスト
 - 課題研究報告会

PICK UP!
OSSH授業公開
夏梨祭(学園祭)

PICK UP!
海外語学研修



- 1学期 中間考査
- 壮行会
- 運動会
- 人権学習

- 1学期 期末考査
- 保護者面談
- 1学期 終業式
- 夏期集中講座
- 勉強合宿

- 海洋環境保全実地研修(西表島)〔高〕
- 湯梨浜学園音楽会

- 人権公開学習
- 教育講演会
- 中部地区中学校総合文化祭
- 森林環境保全実地研修(屋久島)〔高〕
- 2学期 期末考査
- イングリッシュキャンプ

- 3学期 始業式
- 中学校 後期入試・高校 特色入試

- 高校卒業式
- 保護者面談
- 修了式

(注)学校行事は変更になる場合がございます。



●入学式 ●夏梨祭 ●仮想共通テスト ●人権学習 ●課題研究報告会 ●卒業式

PICK UP!
—かりんさい—
学園祭 夏梨祭

中学生と高校生と一緒に楽しめる!競える!
*中高合同で結果が出されるクラスアートなどは特に、高校生だから順位が高いということもなく、中学生でも上位に入賞できます。
6年間の成長がわかる!
*年を重ねるごとにまとまっていくクラスで、たまにぶつかったりもしながら、前よりも良いものを作り上げていくという時間を過ごせる喜びを体験できます。
みんなが主役!
*学園祭では一人一役が与えられます。その中でも「クラスリーダー」は、クラスの準備の進行状況を把握し、指示をします。また、学園祭当日は司会・進行を行い、学園祭を大いに盛り上げてとてもやりがいのある役割です。

動画が見られます



PICK UP!
海外語学研修

2カ国に行ける!
*6年間のうちに、中学で1回、高校で1回の計2回、海外語学研修があります。2カ国に行けることがとても自慢です。
海外の生活がわかる!
*研修旅行では、現地の高校生や大学生、ホームステイ先の方々と一緒に英語でふれあうことができます。海外ならではの言葉や習慣を体験できます。
ホームステイ!
*訪問中には短期ホームステイを経験し、「英語のみ」での生活を体験します。その土地の言語と文化にふれあい、今まで培ってきた英語力を試すことができます。

動画が見られます



勉強だけじゃない!! 部活動でも真剣勝負!!
湯梨浜学園の部活動紹介 (一部)

そのほかに
数学研究部、生物部、
環境保全部なども
活動しています。



剣道部



バドミントン部



水泳部



サッカー・フットサル部



野球同好会



グラウンドゴルフ部



クイズ研究部



ESS



美術部



オセキ部



室内楽部



科学部



囲碁・将棋部



書道部



フラ部



合唱部



制服紹介

Spring

Summer

Autumn

Winter

YURIHAMA Q & A

Q 受験準備は何をすればよいですか？

A 入試で出題される分野は基礎から応用まで多岐にわたっています。本校の過去の入試問題に挑戦したり、年に2回実施するオープン模試を受けたりして、見直しや解き直しをしてみてください。なお、過去の入試問題につきましては、学校説明会や入試説明会にて配布しております。



オープン模試実施風景



オープン模試解説・添削指導

Q 遠方から通うための交通手段はありますか？

A スクールバスを運行しておりますので、JRを利用して鳥取市方面や米子市方面から通学される場合も心配ありません。
①JR松崎駅⇔学園
②倉吉・関金コース(関金温泉バス停・西倉吉バスターミナル・広瀬町・倉吉市役所・パークスクエア北口・中部総合事務所・伊木・JR倉吉駅・学園)
③羽合・由良・浦安コース(浦安駅・由良駅バス停・国坂・江北停留所、旧北浜中、アロハホール、学園)の3つのコースがあります。



湯梨浜学園 ゆり塾 Jr 対象学年:小学1~6年生

湯梨浜学園では小学生対象のゆり塾Jr(校内塾)を開講しております。

内容は入試対策を中心に、日々の学習サポートまで生徒一人ひとりの要望に応じた幅広い指導を行います。費用は一切かかりません。ぜひ友達を誘って、気軽にご参加ください。本校の教員が丁寧にサポートします。

「ゆり塾Jr」に参加することで得られるのは、学力向上だけではなく、ともに学ぶ仲間ができて、湯梨浜学園の教員と直接ふれあい、学校の雰囲気を実感することができます。入学前に「自分の学校」をよく知ることで、湯梨浜学園への進学をより安心して選んでいただくと考えています。

詳細日程はHPに掲載します。お気軽にお問い合わせください。



ゆり塾 対象学年:中学生(在校生)

基礎から応用まで、苦手をそのままにしない。本校では中学生を対象に、完全無料の放課後校内塾「ゆり塾」を開講しています。特につまずきやすい英語・数学を中心に、復習型の丁寧な指導で苦手分野の克服をサポート。定期テストや各種検定、全国模試で自信を持って臨めるよう、一人ひとりのペースに合わせて学べます。参加は希望する単元のみでもOK。自分に必要な学びを、自分のペースで選べるのが「ゆり塾」の強みです。



WEB出願について

出願期間となりましたらWEB出願についての画面を開いていただき、表示されたリンクから出願ページに移動できます。

- 湯梨浜学園中学校 前期入試 2027年度
- 湯梨浜学園中学校 後期入試 2027年度
- 湯梨浜学園高等学校 2027年度

出願期間となりましたら、こちらのQRコードから出願ページに移動できます。▶



■オープン模試 & 学校説明会・イベント案内

日程	内容	対象	会場
5月30日(土)	第1回 中学校説明会	小学生と保護者対象	湯梨浜学園
6月13日(土)	第1回 中学校オープン模試	小学6年生対象	湯梨浜学園・鳥取市福祉文化会館 ※2会場で実施
6月26日(金)	第1回 オープン模試解説・添削指導	小学6年生対象	湯梨浜学園
	チャレンジスタディーJr	小学1～5年生対象	
7月11日(土)	第2回 中学校説明会	小学生と保護者対象	湯梨浜学園
8月1日(土)	オープンキャンパス	小学生対象	湯梨浜学園
10月31日(土)	第1回 中学校入試説明会	小学生と保護者対象	湯梨浜学園
	第2回 中学校オープン模試	小学6年生対象	湯梨浜学園・鳥取市福祉文化会館 ※2会場で実施
11月14日(土)	第2回 オープン模試解説・添削指導	小学6年生対象	湯梨浜学園
	第2回 中学校入試説明会	10/31に参加できなかった方対象	
12月5日(土)	湯梨浜学園高等学校入試説明会	中3生と保護者対象	湯梨浜学園

※お問い合わせ・お申し込みは HP または電話、FAX で承ります。



Nコン中国大会出場



科学の甲子園ジュニア全国大会出場



ビブリオバトル全国大会出場



大学・研究施設訪問

学校法人 湯梨浜学園

湯梨浜学園中学校・高等学校

〒689-0727 鳥取県東伯郡湯梨浜町田畑32-1
tel.0858-48-6810 fax.0858-48-6813
<https://www.yurimagakuen.ac.jp>



ACCESS GUIDE

